

令和4年度（2022年度）

熊本スーパーハイスクール（KSH）構想県指定校事業

【指定校種】
クリエイトハイスクール

【学校名】
熊本県立
鹿本農業高等学校

1 事業主題

鹿本地域の地域資源を活用した教育プログラムに関する研究

2 事業概要

本校の3学科（園芸技術科、食品科学科、生活デザイン科）の教育課程に基づき、授業や特別活動等教育活動を有機的につなぐ課題解決型の教育プログラムの開発に取り組む。

(1) 農産物の品質向上と生産性に関する研究

(2) 地域農産物を活かした商品開発と普及活動を通じた地域振興に関する研究

(3) 地域の生物資源の魅力発見と普及に関する研究

3 事業内容

本校の3学科（園芸技術科、食品科学科、生活デザイン科）の教育課程に基づき、授業や特別活動等教育活動を有機的につなぐ課題解決型の教育プログラムの開発に取り組む。特に、令和4年度からの新学習指導要領の具現化へ向け、学習指導と評価の一体化を進めるプログラムを研究する。また、夢実現へのチャレンジ精神を身に付け、地域に貢献するリーダーや、地域や社会の持続的な発展を担う人材育成に資する教育活動の在り方等の研究を行う。

4 具体的な内容

(1) 総合的な探究の時間：1年生「地域を知る活動」

(2) 食品加工部：和紅茶を使った商品開発と普及活動

(3) 鹿農ジュニアクラブ：高校生が農と食の魅力を小学生に体験しながら伝える活動

【具体的な内容】

1年生：総合的な探究の時間 研究テーマ「地域を知る活動」

(1) 目的

「総合的な探究の時間」のテーマである「地域を知る」学習の一環として山鹿市のフットパスコースを山鹿もてなしたいと歩行しながらコース観察をするフィールドワーク学習により、地域の歴史や地域の魅力の発見、地域住民との交流等により、地域参画意識や地域づくりについて思考する探究学習を深めることを目的とする。

(2) 概要

ア 講話 9月15日(木)「山鹿フットパスの取り組みと現状について」
講師 NPO法人山鹿もてなしたい 代表小川道代 様、理事松崎勝巳 様
イ 生徒アンケート 9月22日(木)

- ・「フットパス」という言葉を知っていましたか。
(はい37.5%・いいえ62.5%)
- ・講話を聴いてフットパスに興味・関心が持てましたか。
(はい4.7%・ややはい63.5%・ややいいえ26.9%・いいえ4.9%)
- ・講話を聴いてフットパスコースを歩いてみたいと思いますか。
(はい15.0%・ややはい47.5%・ややいいえ22.5%・いいえ15.0%)
- ・これまでに地域のイベントやボランティア等に参加したことがありますか。
(はい68.7%・いいえ31.3%)
- ・お住いの地域に魅力を感じますか。
(はい14.6%・ややはい58.6%・ややいいえ26.8%・いいえ0%)

ウ 体験活動 10月20日(木) 山鹿フットパスコース歩行体験学習

コース	距離・時間	生徒数	職員	山鹿もてなしたい
あんずの丘周辺コース	3.6km・80分	7名	1名	1名
古墳にコーフンコース	2.0km・60分	7名	1名	1名
豊前街道路地裏コース(下町編)	2.0km・60分	7名	1名	1名
豊前街道路地裏コース(山の手)	2.0km・60分	7名	1名	1名
来民商店街コース	2.0km・60分	9名	2名	1名
小坂を歩こう・磨崖仏コース	2.0km・60分	8名	1名	1名

【学習内容】

生徒アンケートでは、大半の生徒がフットパスについて認知しておらず、探究活動の開始にあたってNPO法人山鹿もてなしたいに講話をいただき、フットパスを理解を深めることができた。また、「地域のイベントやボランティア等に参加したことがある68%」、「地域に魅力を感じている生徒が58%」、と思いのほか地域活動や地域への関心が高くなった。こうした基礎データを基に探究活動を行った。

体験活動では、NPO法人山鹿もてなしたいと1年生が6グループに分かれて、6つの山鹿フットパスコースをコースマップに従って歩行経路を確認しながら、主体的にコースを歩行し観察やPC端末で画像を記録する。時には同行の山鹿もてなしたいや地域の方と対話しながら、コースや地域の名所旧跡の理解度を高める。歩行後は高校生の視点から見て気づいたことや新たなコースの魅力を既存のコースマップに書き加えた。

体験活動後は、フットパスコースを歩行して気づいたことや感想を広用紙にまとめ、中間報告として文化祭で展示した。

【山鹿市フットパスコース】



(来民商店街コース)



(豊前街道路地裏コース(下町編))



(小坂を歩こう・磨崖仏コース)



(あんずの丘周辺コース)



(豊前街道路地裏コース (山の手))



(文化祭の様子)

【学習の成果と課題】

(1) 成果 (生徒感想より抜粋)

- ① フットパスの意味や歴史について、講話や体験活動で知ることができた。そして、山鹿もてなしたいの方に地域の隠れた魅力を教えていただき、改めて山鹿地域の文化や歴史に魅力を感じることができた。
- ② 地域を調査することが初めての経験でしたが、山鹿地域ならではの「八千代座」や「さくら湯」などの重要文化財や温泉を活かしたまちづくりを知ることができ、調査の時間が足りないくらい見どころがあることに気づくことができた。
- ③ 山鹿地域には多くの古墳があることは知っていたが、古墳コースを歩行して県立装飾古墳館辺りにはとても集中して存在していることが分かった。そしてただの古墳でなく「装飾古墳」として位置づけされているところがとても神秘的に思えた。

(2) 課題

- ① フットパス活動以外に、昨年から継続しているブドウの収穫体験の活動を計画したが、ブドウの収穫適期は狭く、天候と収穫タイミングの問題で実施できなかった。次年度には開催したいと思う。
- ② 農業高校として地域の農業分野に関わる課題に取り組みたいと考えている。そのため、課題把握のための農業関係者のアンケート調査を検討したが、今年度は、時間がなくできなかった。次年度に実施する。
- ③ 本年度の前半は、コロナウイルス感染防止の観点から多くの校外学習で実施するタイミングを失った。後半には一定の校外活動を実施することができたが、スケジュールの重なり等で時間が不足し当初の計画より考察やまとめで探究活動を深めることができなかった。